

## 日本赤十字社 静岡赤十字病院



病院の外観



スタッフの皆さん(右:黒山技師長)



糖尿病検査の測定装置

静岡県 静岡市にある日本赤十字社 静岡赤十字病院では、糖尿病検査としてグルコース分析装置 アダムス グルコース GA-1172(2台)、グリコヘモグロビン分析装置 アダムス A1c HA-8182/HA-8180Vを使用されており、24時間体制で検査が行われております。今回、この装置の保守点検の運用について検査室の皆さんにお話を伺いました。

### Q 糖尿病検査における品質・精度の確保についてお聞かせください。

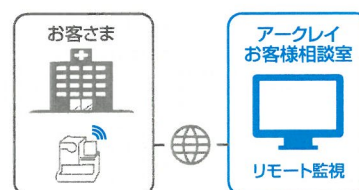
**A** 本院の検査部門では、個々の装置に対し専任のスタッフを配置せず全員(13名)がローテーションにて検査を実施しています。この体制は、夜間に誰でも検査業務ができるように、またスタッフの休暇等で人員不足になっても検査対応ができるようにするためです。特に糖尿病検査は1日当たり平均250検体あり、夜間でもHbA1c検査を行っているため、スタッフへの教育と装置の品質維持が非常に大切な業務となります。

その中で、検査装置の品質維持のために日常的に消耗品交換や点検、コントロール測定を行い、定期的に外部精度管理も行うようにしています。ただ、限られた時間の中で効率よく、確実に行うことに限界があり、当院ではリモート監視システム付き保守契約「あんしんバックアップ・リモート」(以下、ABR)をメーカーと締結することにしました。これによりメーカーからのリモート監視による装置状態とデータ精度の品質確保が可能となり、検査業務がスムーズに行えるようになったと確信しています。

### Q ABRを導入したきっかけをお聞かせください。

**A** 4年ほど前に糖尿病検査装置の導入検討を行った際に、正直どのメーカーの装置も機能に差はありませんでした。そこで当院は検査を精度よく安定して稼働させることのできるメーカーを選択したいという思いがあり、保守契約を念頭に機種を選定しました。その結果、唯一リモート監視システム付きの保守契約があるアークレイ社製品を導入することにしました。

リモートメンテナンスによる  
装置監視、遠隔操作、故障予知\*



\*「あんしんバックアップ・リモート契約」接続装置が対象

図1.アークレイの保守サービスの特長

## Q ABR導入後、どのような効果が得られたでしょうか？

**A** スタッフによる日常点検を行っていますが、装置の状態が確実に良好であるかはわかりません。そこで保守契約を導入することで“プロ”であるサービス員により定期的に装置状態を確認してもらうことで安心して使用することができています。以前、リモート機能がない装置でトラブルが発生したとき、メーカーに問い合わせをしながら、1つ1つ状況説明を行い、指示を受けながらの対応は時間もかかり大変だったことを覚えています。しかし今はこのようなことがなくなり、スタッフへの負担が低減できています。

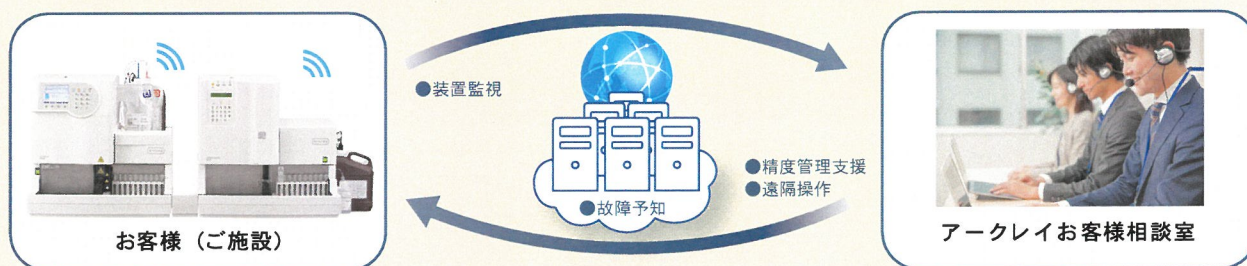
また、日々のデータのことで「あれ？」と思ったときはすぐにABR専用ダイヤルに電話します。リモート機能により検査部門とメーカーとで情報が共有できており、的確なアドバイスを電話で受けることが可能となり、測定結果も安心して提出することができています。

今ではメーカーも当院の検査部門スタッフの一員だと認識するようになりました。

## Q リモート機能についてどのような魅力、メリットを感じておられますか？

**A** 朝の忙しいときなど、装置トラブルが発生してもなかなか気づくことができません。そんな時はアークレイお客様相談室からすぐに電話がかかってきます。その際、詳しい状況を電話で伝えなくてもリモート機能により電話担当者はすべて状況把握されており、迅速な初動対応が可能となり、装置の稼働再開までの時間を短縮することができます。またこのやり取りに手間を感じたことはありません。そして以前、HbA1cの測定データに違和感があったときも、通常であれば測定パターンを一番に確認するものですが、当院の運用にて測定パターンの印字を止めており、すぐに確認することができませんでした。しかし、このリモート機能によりアークレイお客様相談室で測定パターンを確認してもらうことができ、迅速な結果報告ができました。このリモート監視機能により、当院の運用効率の向上に大きく役立っています。

他には、月末に発行される“装置診断レポート”により、定期点検の実施状況や駆動部のデジタルカウントにより装置状態が一目でわかります。コントロール測定もグラフ化されており、精度管理も確認できます。このリモート機能は、当院の運用に欠かせないものとなっています。



## Q 今後、保守契約に期待することがございましたらお聞かせください。

**A** 当院では糖尿病検査装置を2式導入しており、装置間のデータ相関を確認する必要があります。リモート機能により自動で相関を取ってくれるようなサービスがあればいいと思います。

また、新しいABRでは、タブレットが付属されていると聞きます。このタブレットには取扱説明書などいろいろな情報が盛り込まれているためスタッフの教育にも活用できると思います。

今後はもっと各病院の運用にあった総合的な保守契約を期待しています。

### ARKRAY-info Vol.87

発行日：令和3年(2021年)10月

発行：アークレイマーケティング株式会社 プロモーションチーム

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-20-20大雅ビル5F TEL.050-5527-7701(代)

URL <http://www.arkray.co.jp/>